

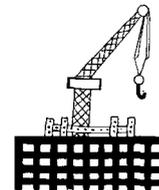


新潮選書

# 日本衰退の理由はなにか

—野口悠紀雄『戦後日本経済史』

香 西 泰



この本は最高に素晴らしい。本書のタイトルである『戦後日本経済史』、すなわち20世紀後半の日本経済の成功と失敗、その盛衰の原因説明としても、またその帰結としての日本経済の危機的な現状の理解についても、さらに官僚、経済学者としての著者の生き様の開示としても、氣迫と創見に満ち、適切な事例、興味深い挿話、教養を偲ばせる批評を交えて、読者の胸に一気に迫る勢いがある。

この本は前半で経済システムが成功を収めて日本が大躍進を遂げる過程を、そして後半は日本経済が突如急速な衰退に陥る過程の説明を扱う。前半は挿話も思わず笑いをかみ締めさせるが、後半はホラー・シーンの連続で、当時の悪夢を再体験させてくれる。

前半では、日本経済の勃興は1940年体制(戦時経済体制)を利用したもので、戦後の経済民主化改革によるものではないことが強調される。確かに40年体制は日本経済の高成長に重要な役割を果たした。最近、成長なら胡錦濤の中国、ブーチンのロシアに倣って社会主義的市場経済に移行するに限るというジョークを

聞いたが、著者により結局は社会主義に帰結したとされる日本の40年体制もこれらと同類項で、ある段階でそれが成長促進に適するのには普遍的根拠があるのかもしれない。日本の特徴は成長と所得平等化の両立に成功したこと、資本移動にはもともと不寛容だったことだろうか。

しかし40年体制に非効率性がなかったわけではない。それを十分に批判しなかったことがその残存という形の時間的非整合性をもたらした。またこれはポツダム教育が真つ盛りの時に中学・高校生だった私の偏見かもしれないが、民主改革が成長を促進した面がなかったとはいえない。農地改革にしても財閥解体にしても、課題は戦前から引き継がれたが、民主改革中でなければあれだけの成果は挙げられなかったのではないか。再軍備を急がず、産業育成が民需産業中心で行われたのも効果的だった。

後半は経済学者として最初にバブルを警告した著者ならではの着眼点から、事態の推移を金融や産業の仕組みから論理的に説明しており、同時に個別で人間的な事例も紹介されているので、知性と感性の両方で、この時代に迫ることができる。大きな筋とし

ては、経済システムの不具合が如何に甚大な困難をもたらすか、経済論理に対して精神主義を掲げて立ち向かうことが如何に損害を大きくするかが、肌があわ立つほどに徹底的に解剖されている。

学界では金融政策の失敗が重視されてきたが、私には本書のような、より広い視野からの分析に大きな説得力が感じられる。どうして40年体制は一転して時代錯誤的極端になり終わったのだらうか。著者は70年代にはたとえ株式時価発行の増加などに見られるように自然に本来の市場経済へ移行する芽が出ていたことを認め、その芽を摘んだのは40年体制が石油危機克服に成功して不幸にも旧体制が復活したからだと言張る。これは歴史の皮肉な匙加減だが、このことから著者はトルストイ『戦争と平和』に言及しながら、歴史の経路は必然か、選択の自由または偶然を含むかを問い、「歴史主義」が妥当か、政策決定は人間の意志によるものかを議論している。もちろん過去の呪縛が現在、将来に影響する場合もあり、歴史を重視したい専門の歴史家はその点を強調する場合が多いように感じるが、「歴史主義の貧困」を信条

とする歴史書も貴重だろう。

体制の不具合は80年代に入っついでいよいよ破滅的になるが、著者はその要因として技術の変化と社会主義の没落を挙げている。工学部出身の著者の視点は技術音痴の私にはまぶしいが、本書の広い視野を窺うに足る指摘だ。

実践的な立場から言えば、本書で最も重要なのは歴史を負った現在の日本の惨状暴露である。技術と思想・制度のギャップはあまりに深く、社会保障財政の暴走処理には手がつけられない日本に再生の道はあるのか。本書に限れば「斥候よ、夜はなお長きや。ものみ答えて言う、朝は来る、されどいまはなお夜なり」(ウェーバー著/尾高邦雄訳『職業としての学問』より孫引き)としか答えようがない。

いやひとつ希望がある。それは本書で開示された著者のような独立した学者がもっと日本に多く現れることである。

野口悠紀雄『戦後日本経済史』(こうさい・ゆたか 日本経済研究センター特別研究顧問) 981-01-03556-8 発売中

## マックス・ヴェーバーにとって社会学とは何か

折原 浩  
歴史研究への基礎的予備学「ヴェーバー社会学」とは何か。2940円

## ヴェーバーとリベラリズム

佐野 誠  
自由の精神と国家の形 古典的自由や平等のポテンシャル。3360円

## 反事実的条件法

D.ルイス/吉満昭宏 訳  
現代形而上学の最高峰に君臨するルイスの著者、本邦初訳。3990円

## カルダーノのコスモス

A.グラフツン/榎本・山本 訳  
ルネサンスの占星術師 博学の天才は占星術に何を見たか。4200円

## テレビニュースの世界像

萩原 滋 編著  
外国関連報道が構築するリアリティ 世界認識の形成過程。3675円

\*価格税込\*

いんそほ 勁草書房 TEL 03-3814-6861 FAX 03-3814-6854  
〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1  
http://www.keisoshobo.co.jp